

## 福知山市自治基本条例推進委員会 Aグループ部会(第2回)概要報告

[日 時]令和4年12月27日(火)9:30~11:40

[場 所]市民交流プラザふくちやま

[出席者]委員…7人、事務局…3人、傍聴者…1人

### ■ 開会

### ■ 挨拶

### ■ 自己紹介、アイスブレイク

### ■ 前回のふりかえり

### ■ 協議事項「21の提案(②③⑧⑱)の具体化・実現に向けて

#### (1)提案⑧ 子育てを地域全体でサポートすることで働く人が住みやすいまちをつくろう

##### 【提案に関する取組で、すでにできていること】

・保育園の待機児童はほぼいなくて、自分の親に子育てを手伝ってもらっている人が多い印象がある。  
福知山市には、子ども連れで行ける場所が多い。

・福知山市には、乳幼児向けのすくすくひろばのような施設があるが、そういった場所で保護者同士のつながりが生まれている。そのつながりがサークルとなり、NPO化し、次の子育て世代を支えるというサイクルが一定できているので、グループを作りやすいイメージがある。

・今の福知山市での子育てについて思うことは、ワンストップ窓口になり、以前よりサービスが良くなっていると思う。

##### 【福知山市の課題、提案を実現するのに妨げとなっているもの】

・子どもと地域住民がふれあう機会が全体として少ない。

・コロナの影響もあり、地域と学校がつながる機会が減っている。

・既存の自治会は、家族単位を想定して作られているが、今は単身世帯が多いので、自治会運営の前提条件が崩れてきている。

### 【提案を実現するために】

- ・今の子ども達は、学校以外の学びを主体的に取り組む力を求められているので、そういった学びの場を地域に求める。
- ・人口減少は致し方ないが、人交密度は減らさないことが重要。自治会加入率ではなく活動頻度を見るといった測り方も大切。
- ・サービスが充実すると、人が集まる機会が増えてつながりができ、グループ化につながる。孤独な人が多いと感じるので、そんな人たちとつながる場ができれば。
- ・サービスが充実したというが、しくみで失ったものを取り戻せるのか。かえって、他者に関わらないでおこうとなっているような気もする。昭和が懐かしいとは言わないが、自然と支え合えたら。
- ・市民主体の場、ネットワークを作ることが必要。

### (2)提案⑱ 子育てを地域全体でサポートすることで働く人が住みやすいまちをつくろう

#### 【提案に関する取組で、すでにできていること】

- ・自分が住む地域では、美化作業を行なっている。幅広い世代が参加するので、地域交流の一環となっている。
- ・地域公民館等で、誰でも参加できる生涯学習講座がある。
- ・福知山市のLINEで必要な情報が届く。

#### 【福知山市の課題、提案を実現するのに妨げとなっているもの】

- ・行政の縦割り。横連携に課題があるので、情報が共有されない。窓口のたらいまわし。
- ・行政に限らず、福知山市全体で連携が不十分。
- ・相談窓口は多くなったが、そこまで行ける人と行けない人がいる。
- ・地域行事に住民が参加してくれないので、話ができない。
- ・自治会に加入している人とそうでない人で不公平感がある。

**【提案を実現するために】**

- ・地域の繋がりをもつために、地域行事に参加してもらう機会をいかに増やすか考える。
- ・ニーズとシーズの把握とマッチングをするために、いろんな人が交わる場所づくり。